

政策指標の推移と改定について

現行の住宅マスタープランには、政策の進行状況を把握するため 27 項目の指標データに数値目標を定めています。中間改定においてはこれら指標と目標値の踏襲を原則とします。

ただし、施策に対する市民の満足度にかかる指標（市民アンケートの調査結果を参照する 10 項目）については平成 23 年調査から 27 年調査の間で設問が変更されたため、一部を見直します。

また、上位計画である住生活基本計画（全国計画）及び滋賀県住生活基本計画が見直されたことから、これらとの整合を図るため目標値を定めない【参考指標】を新たに設けます。

上記の見直しにより、改定案の指標は 24 項目、参考指標は 4 項目となります。

施策体系の中間見直しの考え方

【前提条件】

本改定は、計画期間の中間年度にあたる見直しであるため、現行計画の基本的枠組みとなる『基本理念』『基本目標』『横断的な視点』については、原則として変更しないこととします。

〈見直しの視点〉

- 目標値の達成状況による視点⇒目標値を達成した指標は修正
- 指標数のバランスの視点⇒指標数が少ない基本方針には新たに参考指標を追加
- 県住生活基本計画との連携からの視点⇒県住生活基本計画で新たに追加された指標を参考指標として追加
- 草津市総合計画からの視点⇒市民意識調査の設問が変更された指標については、草津市総合計画第 3 期基本計画の指標に読み替え



基本方針 1-1 防災・防犯性の向上による住宅・住環境の基本的な安全確保

【指標値の推移と目標達成状況】

指標名	当初値	現状値	現状値 変更後	目標値	目標値 (変更後)	担当課
住宅の耐震化	84.5% (H19)	90.0% (H27)		95%(H32)		建築課
多数の者が利用する建築物の耐震化率	79.7% (H19)	94.6% (H27)		90%以上 (H27)	95%以上 (H32)	建築課
自主防災組織結成率	92.8% (H23)	92.3% (H27)		100% (H33)		危機管理課
人口 1 万人当たりの犯罪認知件数	177.9件 (H22)	123.4件 (H27)		150件 (H33)	88件 (H33)	危機管理課
災害に強いまちであると感じる市民の割合			21.5% (H27)		26% (H32)	危機管理課

読み替え

読み替え

- *¹住宅の耐震化率、多数の者が利用する建築物の耐震化率は「草津市既存建築物耐震改修促進計画（第 2 期）」より
- *²自主防災組織結成率は、全町内会（行連区を除く）のうち、自主防災組織を結成している町内会の割合
- *³人口 1 万人当たりの犯罪認知件数、災害に強いまちであると感じる市民の割合は第 5 次草津市総合計画第 3 期基本計画の指標と整合

【読み替え指標】

指標名	当初値	現状値(参考)	目標値	読み替え先
防犯性能の満足率	62.9% (H23)	75.2% (H27)	73% (H33)	「人口 1 万人当たりの犯罪認知件数」へ読み替え
治安の良さ(地域の防犯性)の満足率	61.9% (H23)		72% (H33)	「人口 1 万人当たりの犯罪認知件数」へ読み替え
防災性能(火災・地震・大雨など)の満足率	66.0% (H23)		76% (H33)	「災害に強いまちであると感じる市民の割合」へ読み替え
火災・地震、水害等の備え(避難路・延焼防止など)の満足率	52.4% (H23)	85.1% (H27)	62% (H33)	「災害に強いまちであると感じる市民の割合」へ読み替え

【参考指標】

(なし)

基本方針 1-2 高齢者・障害者等が安心して暮らせる生活環境づくり

【指標値の推移と目標達成状況】

指標名	当初値	現状値	現状値 変更後	目標値	目標値 (変更後)	担当課
ユニバーサルデザイン化が図られた住宅の割合	14.8% (H20)	15.0% (H25)		32% (H32)		住宅課
高齢者が居住する世帯のバリアフリー化率	42.4% (H20)	50.0% (H25)		90% (H32)		住宅課
まちに障壁(バリア)が少ないと思う市民の割合			28.2% (H28)		30% (H32)	道路課

読み替え

*¹ユニバーサルデザイン化が図られた住宅の割合は、住宅・土地統計調査において 65 歳以上の世帯員がいる住宅のうち、「道路から玄関までの車いす・ベビーカーで通行可能」な設備を有する住宅の割合。目標値は滋賀県と同値

*²高齢者が居住する世帯のバリアフリー化率は、住宅・土地統計調査において 65 歳以上の世帯員がいる世帯のうち「一定のバリアフリー化（2 箇所以上の手すり設置または屋内の段差解消）」をしている世帯の割合。目標値は滋賀県と同値

*³まちに障壁(バリア)が少ないと思う市民の割合は第 5 次草津市総合計画第 3 期基本計画の指標と整合

【読み替え指標】

指標名	当初値	現状値(参考)	目標値	読み替え先
高齢者・障害者等への配慮(手すり・段差解消・車イス対応など)の満足率	43.0% (H23)	77.1% (H27)	63% (H33)	「まちに障壁(バリア)が少ないと思う市民の割合」へ読み替え

**【参考指標】**

指標名	滋賀県計画		現状値	担当課
	目標値	直近の状況	直近の状況	
高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合	4% (H37)	1.3% (H27)	0.3% (H28)	住宅課

※⁴高齢者人口に対するサービス付き高齢者向け住宅の割合（現状値）は、草津市内の①有料老人ホーム、②軽費老人ホーム、③サービス付き高齢者向け住宅の総戸数を草津市の65歳以上人口で除した値（全国計画・県計画におけるH37目標値は4.0%）

基本方針 1-3 セーフティネットとしての公的賃貸住宅の的確な供給と管理**【指標値の推移と目標達成状況】**

指標名	当初値	現状値	現状値 変更後	目標値	目標値 (変更後)	担当課
最低居住面積水準未達率	3.8% (H20)	6.5% (H25)		早期に解消		住宅課

※¹最低居住面積水準未達率は、住宅・土地統計調査における「最低居住面積水準未達」の世帯の割合

【参考指標】

指標名	滋賀県計画		現状値	担当課
	目標値	直近の状況	直近の状況	
あんしん賃貸ネットへの登録戸数	2,000戸 (H37)	998戸 (H28.11)	106戸 (H37)	住宅課

※²滋賀あんしん賃貸ネットへの登録戸数は①高齢者世帯、②障がい者世帯、③外国人世帯、④子育て世帯、⑤被災者世帯、⑥低所得者世帯いずれか向けとして登録された住宅の総計

基本方針 2-1 多様なニーズに応じた住宅確保の促進**【指標値の推移と目標達成状況】**

指標名	当初値	現状値	現状値 変更後	目標値	目標値 (変更後)	担当課
子育て世帯における誘導居住面積水準達成率	48.8% (H20)	51.5% (H25)		60% (H32)		住宅課
空き家率	10.7% (H20)	9.2% (H25)		現状維持 (H33)		住宅課
多様な間取りの住戸の供給をしている市営住宅団地数	2団地 (H22)	3団地 (H27)		3団地 (H33)		住宅課

※¹子育て世帯（構成員に18歳未満の者が含まれる世帯）における誘導居住面積水準達成率は、住宅・土地統計調査において家計を主に支える者の年齢が25～54歳の世帯のうち、「誘導居住面積水準以上」の割合。目標値は滋賀県と同値

※²空き家率は、住宅・土地統計調査における「空き家数」の割合

【参考指標】

(なし)

基本方針 2-2 省エネ・低炭素社会への住宅・住環境からの貢献**【指標値の推移と目標達成状況】**

読み替え

指標名	当初値	現状値	現状値 変更後	目標値	目標値 (変更後)	担当課
太陽光発電システム設置契約数	1,100口 (H23)	3,400口 (H27)		3,100口 (H33)	4,500口 (H33)	環境課
草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数			72人 (H28)		80人 (H32)	環境課

※¹太陽光発電システム設置契約数は関西電力の調査より

※²草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数は第5次草津市総合計画第3期基本計画の指標と整合

【読み替え指標】

指標名	当初値	現状値(参考)	目標値	読み替え先
環境・省エネへの対応(太陽光など自然エネルギー活用、省エネ設備の導入など)の満足率	25.0% (H23)	84.6% (H27)	45% (H33)	「草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数」へ読み替え

【参考指標】

(なし)

基本方針 2-3 ユニバーサルデザインと緑豊かな街なみ形成**【指標値の推移と目標達成状況】**

読み替え

読み替え

指標名	当初値	現状値	現状値 変更後	目標値	目標値 (変更後)	担当課
地区計画の指定地区数	8地区 (H23)	9地区 (H27)		12地区 (H33)		都市計画課
景観形成重点地区の指定地区数	0地区 (H23)	2地区 (H27)		13地区 (H33)		都市計画課
緑地協定締結区域数	8地区 (H23)	14地区 (H27)		13地区 (H33)	15地区 (H33)	公園緑地課
公共交通機関の利便性に満足している市民の割合			44.7% (H28)		46% (H32)	交通政策課
市内および居住地周辺の景観に好感がもてると感じる市民の割合			33.7% (H27)		37% (H33)	都市計画課

※¹地区計画の指定地区数は、まちづくりの方針等を定めた地区計画の策定数。目標値は一団の土地利用が見込まれる地区数を現状値に加えた数

※²景観形成重点地区の指定地区数は、特に重点的に良好な景観の保全・活用や新たな都市景観の創出を図るべき地区数。

※³公共交通機関の利便性に満足している市民の割合、市内および居住地周辺の景観に好感がもてると感じる市民の割合は第5次草津市総合計画第3期基本計画の指標と整合

【読み替え指標】

指標名	当初値	現状値(参考)	目標値	読み替え先
公共交通(バス・電車など)の利便性の満足率	54.3% (H23)	69.7% (H27)	64% (H33)	「公共交通機関の利便性に満足している市民の割合」へ読み替え
景観・美観(色彩、緑化)の状況の満足率	66.0% (H23)	84.6% (H27)	76% (H33)	「市内および居住地周辺の景観に好感がもてると感じる市民の割合」へ読み替え
まちなみ景観の美しさの満足率	55.0% (H23)		65% (H33)	「市内および居住地周辺の景観に好感がもてると感じる市民の割合」へ読み替え

【参考指標】

(なし)

基本方針 3-1 長期的に活用される優良な住宅の形成

【指標値の推移と目標達成状況】

読み替え

指標名	当初値	現状値	現状値 変更後	目標値	目標値 (変更後)	担当課
良好な居住環境が形成されていると 感じる市民の割合	63.1% (H23)	84.2% (H27)	67.6% (H28)	73% (H33)	72% (H32)	住宅課

*¹良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合は第5次草津市総合計画第3期基本計画の指標と整合

【読み替え指標】

指標名	当初値	現状値(参考)	目標値	読み替え先
住宅の傷みの少なさ(老朽の程度)の満足率	63.1% (H23)	84.2% (H27)	73% (H33)	「良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合」へ読み替え

【参考指標】

新

指標名	滋賀県計画		現状値	担当課
	目標値	直近の状況	直近の状況	
新築住宅における認定長期優良住宅の割合	30.0% (H37)	19.1% (H27)	調査中 (H)	建築課

基本方針 3-2 住宅ストックの適正な維持管理と活用

【指標値の推移と目標達成状況】

読み替え

指標名	当初値	現状値	現状値 変更後	目標値	目標値 (変更後)	担当課
リフォーム実施率	4.8% (H16~H20の平均)	5.6% (H21~25の平均)		6% (H32)		住宅課
草津市空き家情報バンクの年間登録数		1件 (H28)		5件 (H29~H32の平均)		建築課

*¹リフォーム実施率は、住宅・土地統計調査において平成21年以降から5年間で「増改築・改修工事等を実施」した割合。目標値は滋賀県と同値

【読み替え指標】

指標名	当初値	現状値(参考)	目標値	読み替え先
既存住宅の流通シェア	7.8% (H22)		23% (H32)	「草津市空き家情報バンクの年間登録数」へ読み替え
住宅の維持や管理のしやすさの満足率	69.5% (H23)		80% (H33)	「草津市空き家情報バンクの年間登録数」へ読み替え

【参考指標】

(なし)